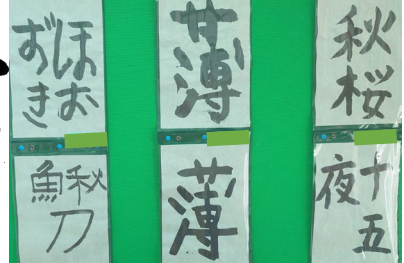




令和7年
(2025年)
9月号
Vol.69

もちのさ



遊美術

(8月19日(火))

遊美術・書道教室の記事はHPへ!

(社会福祉法人愛の森広報紙)

書道教室(8月19日(火))

[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山 14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

「お詫びと訂正」考

日曜の朝は平日と違い、毎週何となく同じテレビを見ながらゆっくり朝食を摂ります。先日、番組内であるコメンテーターさんが、自粛のきっかけとなったご自身の発言のお詫びとともに久しぶりに出演されていました。事案の詳細は承知しませんが、ご発言を拝聴しました。

話変わって先週の大手日刊紙朝刊。大スクープの筈がなかなかの誤報でした。「議員さんが秘書給与を詐取した疑い」というスクープの筈が人違い(違う議員さん)だったという…。テレビ各社が「明日1面でお詫び掲載」と報じていたので、不謹慎ながら朝刊を待ちました。一般にお詫び記事は小さく掲載する例が多いような印象がありますので、1面にそれなりのスペースを割き、これもまた立派な💧お詫びだったかな、と。週末には検証記事も出ていましたが、素人ながら読み応えのある検証記事であり、我がことへの教訓も多く感じました。

人さまのことはさておき、自身の日常を振り返れば…。「会議や日常での発言」にせよ「業務の方針」にせよ、様々な場面で「間違った」「しまった」と思うことは結構あります。すべての場面でできているかは自信がありませんが、そう思ったときは、時間をおかず、謝る、訂正する、防止策を講じる、という基本を心がけたいと思っています。ただ、自らの感受性の低さ等からそもそも「しまった」と思っていない場合などもあると思うと、なかなか簡単ではありません。

謝ったり訂正することにより間違いが「上書き」されるわけではありませんが(特にお相手の気持ちを傷つけた場合など)、少なくとも何らかのアクションを起こさなければ始まらない、ということは、常に留意していきたいと思います。そして、他者の事例も「教材」として真摯に…。

「反省大好き💧」ですが、なかなか精進できない「ふつつか者」の独り言まで。 [國分 隆之]

昔噂の真相という月刊誌に「お詫びアラカルト」(題名違ったかな)というコーナーがあり、結構興味深く読んでました🐼



[お盆前の納め会!]

今年は、夕方に、手持ち花火も楽しみました! : 8月8日(金)

お盆や年末年始のお休みの前日は、例年「納め会」と称して、午後のティータイムを楽しみます。今年は入所部門の一部で新型コロナがプチ発生したため、2階食堂ではなく、男性寮・女性寮それぞれで、シュークリームとジュースによる団らんとなりました。

夜は、担当の花火のような閃き🌟により、急遽、手持ち花火で涼をとることに。手持ち花火は久しぶりだったので、安全面での配慮などを担当間で検討したうえで実施しました。

手慣れた手付きで火を点ける方、両手に2本持ち余裕そうな表情を見せる方など、皆さん思い思いに楽しまれていました。大きな行事からプチ行事に至るまで、色々なものを通して「季節」や「非日常」を感じてリフレッシュし、暑い夏を乗り切っていただきたいと願う担当でした。



[北田 佳奈子]

【湖にダイブ!】

7月の日帰り旅行は、山中湖でKABAバスに乗りました! : 7月17日(木)

利用者さん9名、保護者の方1名、職員5名の総勢15名で山中湖に行ってまいりました。

雨☔や台風🌀の予報で心配しましたが、当日は、皆さんの日頃の行いのなせるわざか、はたまた学園に飾っていたテルテル坊主の思いが通じたのか、絶好のお天気マーク☀!

山中湖の「KABAバス」は、陸から湖にダイブする瞬間のスプラッシュ感がとても爽快で、皆さん、お約束の大歓声! ダイブしたあとは遊覧モードで、ゆったりと、添乗員さんのお話を聞いたり景色を楽しんだり…。近くで見る富士山🌋は圧巻!、壮大!、そして感動!

お昼はしゃぶしゃぶランチ。皆さん、上手に鍋に具材を入れて「しゃぶしゃぶ」しました。

猛暑の一日、涼しい湖面と熱々の鍋の双方を楽しめた一日でした。

[飯島 功士]



【お祭り系三連発!】

地域や近隣事業所のお祭りなどに積極的に参加しました!

8月14日(木)、近所の「デイサービスみどり」さん に、今月もお誘いいただき、利用者さん3名で夏祭りに参加しました。かき氷や駄菓子屋さんとのコラボで懐かしいお菓子が沢山販売され、「みどり」の利用者さんと一緒にお祭りの雰囲気を楽しみました。 [橋本 恵子]

森の里地区の夏といえば、毎年恒例の「森の里夏祭り」。16日(土)、「森の里夏祭り@若宮公園」では、日頃の日課で丹精込めて作成した各種物品を販売し、今年も多くのお客様に購入していただきました。「昨年買ったメガネチェーン、今でも愛用してますよ!」といった地元の方のお声かけや、購入したヘアピンを早速付けて再度お店に立ち寄ってくださる方など、地域の方々のありがたみをこの上なく感じます。利用者さんの作品が、多くの人に受け入れられ、大切に使用していただけるのを目の当たりにすると、大変嬉しく思います。

参加利用者さん3名は、チョコバナナ、フランクフルト、焼きそば等を堪能されました。学園におられる利用者さんも、出窓から花火を眺め、夏を十分に満喫できたようです。[北田 佳奈子]

25日(月)は、「福祉の広場2025 ふれあいステージ in あつぎ」に参加しました。年齢や障害の有無に関わらず、みんなが笑顔になれる場を、との趣旨で開催されているイベントも今年で16回目ですが、我が学園は毎年参加! 二部構成の第一部では、小中学生によるチアダンス! 迫力のあるチアダンスを観て利用者さんたちもニコニコしながら大拍手! 第二部では厚木市を拠点に活躍するフォークデュオ「マナカマサ」さんオンステージ!。利用者さんも一緒に歌ったり、身体を動かしたり、とても楽しいひとときを過ごしました。 [島岡 佑樹]

写真を載せるスペースが少なくなっていました。ホームページには、追加の写真も順次載せる予定です。是非御覧ください。



[学生さん2題!]**恒例の施設見学と実習受入れ：8月18日(月)～29日(金)、19日(火)**

お盆明けの19日(火)、YMCA健康福祉専門学校の学生さん12名が施設見学。色々な社会経験をお持ちの幅広い年齢層の学生さんたちですが、施設は初めてとのことで、学園の日常を見学し、また、利用者さんの素敵な絵、綺麗な字、色々作品などを堪能して頂きました。[橋本 恵子]

小田原短期大学の学生さんは2週間に渡っての施設実習。

最終日にご感想をいただきました。

😊 初めは施設生活のイメージが湧かず、利用者さんとうどう関わっていったらよいか、戸惑いました。会話よりジェスチャー中心のコミュニケーションの方も多く、自分の話が伝わっているのか?、どう伝えたらよいのか??、と思う日々…。実習後半、利用者さんが身振り手振りで伝えて下さることや、会話以外の色々な反応などが少しずつ理解できるようになりました。幼稚園実習とは違う関わり方に、新鮮さと驚きがあり、楽しくも、嬉しいと感ずることができました。 [大川 矩子]

**[史上最多]****園内研修史上最多!の人数で摂食嚥下の基礎を学びました！：8月22日(金)**

「食」は命の源であるとともに、生活上の大いなる楽しみでもあります。そして、何気ない普段の食事ではあっても、加齢化等に伴う咀嚼・嚥下機能の低下は誰にでも起こり得ることであり、配慮を怠ると危険な事案につながることもあります。

利用者の皆さんがいつまでも安全に楽しく食事摂取を続けられることを目的に、今年も、言語聴覚士(ST)の濱中眞由先生(聖路加国際病院)を講師に迎え、研修会を開催しました。

今回は特に、日頃の食事支援に携わりながらもなかなか通常の研修タイム(平日の17時以降)には参加しづらい非常勤職員も参加しやすいよう、昼間の時間帯に研修をセットしたところ、3階サロンが溢れんばかりの総勢25名(含常勤職員)の参加となりました。

まず、講師から摂食嚥下機能の基礎知識や食事姿勢などのご説明を伺ったうえで、食事介助姿勢に関する正しい姿勢・正しくない姿勢を職員同士で試しあう演習のご指導をいただき、食べやすさ・食べにくさなどを実体験しました。また、ペースト食の試食も行ったほか、実際の入所利用者さん1名をケーススタディとして採り上げ、普段の食事風景の動画を皆で観察しながら、現状に即した適切な食事支援についてのご助言をいただきました。

多くの職員からの質問もあり、食事支援についての関心がいかに高いかが伺え、盛況のもと研修会を終了しました。特に、初めて濱中先生の講義を聞いた非常勤職員等からは、「職場の先輩に教わっていた介助・支援方法それぞれの「意味や理由」が非常によくわかった」等、専門職による講義と演習を取り混ぜた研修会は、大好評でした。引き続き利用者さんのより安全で充実した食事支援体制を築いていきたいと思います。 [企画：滝沢 景子、記事：遠藤 岳洋]



[調理実習(♡♪)] バナナの切り方にも個性あり! : 8月26日(火)

利用者さんからのご要望(♡)を受けて、急遽、ワッフルデコレーションを企画しました。冷凍ワッフル、ホイップクリーム、チョコソース、バナナを購入。利用者さんにバナナを切る工程をお願いしましたが、皆さんバナナの切り方が異なり、新しい発見! 生クリーム、カスタードの2種のホイップクリームをご用意し、クリームやチョコソースはお好みのままに! 作るのが一寸難しい方には、職員が本気で(♡♪、デコさせていただきました! 作って食べて、ごらくごらく! [木村 鉄平]



[新人?職員インタビュー] 利用者さんの「美味しかった」に励まされ! : 磯崎 照代 さん(栄養士)、梅林 真紀子 さん(調理員)

👱🏻 「新人」と言われると違和感があるのですが(苦笑)。

👱🏻 お二人とも非常勤職員時代を含めれば、大変なベテランで…。ま、一応このコーナーは、常勤職員になっていただいた時点での声かけですので(笑)。まずは愛の森とのご縁などを。

👱🏻 子育ての合間の短時間勤務で何かないかなと思っていたら、「栄養士持ってるなら献立つくって!」と…。当初は在宅での献立作りだけでしたが、週1回、週3回と、献立以外の学園での仕事も増えていき、一日5時間が7時間となり、遂に昨年常勤になっちゃいました(👱🏻)。

👱🏻 私も子育てしながら公民館の図書館で働いていたのですが、近所の友人から「人が足りないから手伝って」と…。当初は図書館と掛け持ちしていたのですが、いつの間にか専任に(👱🏻)。

👱🏻 お二人ともずるずると引き込まれちゃった感じですね(笑)。学園での厨房業務は、多数つくることのほか、調理や提供方法にも利用者さんごとの対応が結構ありますが、どうですか?

👱🏻 利用者さんからのご要望も踏まえて、極力色々なものを出したいと思っていますが、厨房や機器が古いこともあり、思うに任せないこともあります。また、例えばお皿毎に「ホイル焼き」にしたら楽しいかな、とか思っても、一寸、今のスタッフの人数では難しいかな、とか。

👱🏻 施設開設から40年弱、利用者さんの数も増えているなかで、色々のご苦勞をかけます。

👱🏻 一方で、「ご馳走様」「美味しかった」とか、「元気?」、「この服かわいいでしょ」とか話かけて下さるので、とてもよい雰囲気です。今日のコーヒーゼリーはお口に合ったようで、多くの方から反響がありました。

👱🏻 利用者さんもお年を召した方が増えています。

👱🏻 例えば餃子でも「揚げ餃子」は人によってNGです。「メニューを考え、ご提供する」、各々の場面で利用者さんの召し上がる様子を想像し、工夫するようにしています。

👱🏻 刻みとかミキサー食にせざるを得ない方も徐々に増えてきていますが、極力ミキサーにせずに、という思いはあります。刻み方を工夫したり、とか。色々やってみると利用者さんの反応も違うので。嬉しく思います。

👱🏻 そういえば、利用者さんからのご要望は、口頭の外、お手紙も届くとか?

👱🏻 一杯ありますよ! 食べたいものリストから、お礼状まで(♡)。

👱🏻 素晴らしい。愛される厨房さん、引き続きよろしくをお願いします。

[國分 隆之]

